

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業 (210153)			担当課	農林業振興課		
	開始年度	平成27(2015)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	荻野 幹雄		
	歳出費目	款) 農林業費	項) 林業費	目) 林業振興費	決算附属資料	178	頁	
	施策の大綱	農林水産業の振興			関連計画等	福知山市鳥獣被害防止計画		
	施策名	有害鳥獣対策を強化する			根拠法令等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (中丹3市共同事業)						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	有害鳥獣により増加する農作物被害を軽減させるため、共通の課題を抱える中丹3市(福知山市、綾部市、舞鶴市)の共同利用施設として設置した「中丹地域有害鳥獣処理施設」の適正な管理運営を行うことにより、駆除隊員の労力負担を軽減することで計画的な捕獲を一層推進し、農作物被害の軽減を図る。						
	対象者	福知山市有害鳥獣駆除隊員	対象者数	218	一人当たりコスト	243.67		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> PSSユニオンほか						
	事業概要	中丹地域有害鳥獣処理施設の管理運営と施設周辺整備を行った。						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費		
		需用費	消耗品費4,917、燃料費7,524、光熱水費3,531、修繕料1,512			17,484		
		委託料	指定管理委託料17,361、施設機器点検等委託料2,168			19,529		
		工事請負費	施設整地工事(残土処分、フェンス設置)			3,786		
		備品購入費	温水洗浄機、一時保管冷蔵庫購入			3,391		
	その他(役務費、使用料)	通信料58、保険料44、使用料32			134			
関連事業	有害鳥獣防除事業、有害鳥獣捕獲事業							
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①	38,906	49,360	44,162	52,099		
		補正予算等・・・②	△ 1,152	0	0	0		
		繰越し等・・・③	0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源	9,887	27,327	25,712	29,381		
		国支出金	11,039	0	0	0		
		府支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他特財	16,828	22,033	18,450	22,718		
		特定財源名称(H29実績)	処理施設管理運営他市負担金	18,887	雑入	46 頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.47/0	0.47/0	0.47/0	/		
		概算人件費・・・④	3,760	3,760	3,760			
	総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		41,514	53,120	47,922			
執行状況	執行額・・・⑥		33,571	44,324				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		88.9%	89.8%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		有害鳥獣による農作物年間被害額	千円	36,660/30,000	34,806 /30,000	/30,000	30,000	
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		年間処理頭数	頭	6,948 /4,205	7,305/4,205	/4,205	4,205	
		単位あたりコスト		4.8	6.1			
				/	/	/		
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・施設の管理については、指定管理制度により、地元団体である「PSSユニオン」に委託している。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・中丹3市の共同利用施設であるが、2市からの負担金以外に、収入が見込めない事業である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	・成果目標については、当事業が直接的に係るものではなく、他の関連事業の実施と併せて期待される目標としており、十分に理にかなったものとは言い難い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	計画処理頭数4,205頭に対し、処理頭数7,305頭となり計画を上回る焼却処分を行った。	
	今後の課題及び方向性	中丹地域3市が協調して事業を実施しており、互いに課題や情報の共有を行いながら実施していく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	計画を大幅に上回る処理頭数を処理しているので保守点検及び早期の修繕対応で施設の延命化を図る。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	有害鳥獣捕獲事業 (210174)			担当課	農林業振興課		
	開始年度	平成25(2013)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	荻野 幹雄		
	歳出費目	款) 農林業費	項) 林業費	目) 林業振興費	決算附属資料	180	頁	
	施策の大綱	農林水産業の振興			関連計画等	福知山市鳥獣被害防止計画		
	施策名	有害鳥獣対策を強化する			根拠法令等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	本市におけるシカ・イノシシ等の野生鳥獣による農作物被害の軽減を図るため、「福知山市鳥獣被害防止計画」に基づき、有害鳥獣駆除隊による捕獲を効果的に実施する。						
	対象者	福知山市有害鳥獣駆除隊員	対象者数	217	一人当たりコスト	431.72		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 福知山市有害鳥獣駆除隊						
	事業概要	有害鳥獣駆除隊による野生鳥獣の捕獲の実施と狩猟免許の取得、デジタル簡易無線機の導入に対して支援を行なった。						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		賃金		臨時職員賃金			1,215	
		報償費		捕獲動物買上料及び活動手当			74,418	
需用費		消耗品費534、印刷製本費45			579			
役務費		郵送料			373			
負担金補助及び交付金		狩猟免許取得支援事業補助金、デジタル簡易無線機導入補助金			1,745			
関連事業	有害鳥獣防除事業、中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業							
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		92,935	89,394	77,518	70,493	
		補正予算・・・②		1,152	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		57,267	50,923	43,397	45,046	
		国支出金		0	0	0		
		府支出金		10,224	38,471	34,109	25,446	
		地方債		0	0	0		
		その他特財		26,596	0	12		
		特定財源名称(H29実績)		緑の公共事業(有害鳥獣駆除関係事業)		8,664	府補助金	26 頁
			鳥獣被害緊急捕獲等対策事業補助金		28,576	府補助金	26 頁	
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.70/0	0.53/0.02	0.53/0.02	/		
	概算人件費・・・④		5,600	4,290	4,290			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			99,687	93,684	81,808			
執行状況	執行額・・・⑥		92,500	78,330				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		98.3%	87.6%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		有害鳥獣による農作物年間被害額	千円	36,660/30,000	34,806/30,000	/30,000	30,000	
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		年間捕獲頭数	頭	5,373/5,795	4,576/5,795	/5,795	5,795	
		単位あたりコスト		17.2	17.1			
				/	/	/		
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・本市における有害鳥獣の駆除活動については、福知山市有害鳥獣駆除隊に委ねている。 ・有害鳥獣の駆除については、地元からのようぼうが年々多くなっている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・駆除隊員に対する報償費について、項目を細かく設定し効率的な駆除活動の実施を図っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については、事業の実施により直接的に有効なものである。 ・活動実績については、捕獲計画頭数の前後で推移しているが、更なる強化が必要である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	年間捕獲頭数は前年度に比べ797頭減少したが、有害鳥獣による農作物被害は減少傾向にある。農作物被害を減少させるには、今後も引き続き有害鳥獣の捕獲を実施する必要がある。	
	今後の課題及び方向性	有害鳥獣駆除隊については、隊員の高齢化と減少が大きな課題となっているが、今後も引き続き有害鳥獣駆除隊による有害鳥獣の捕獲を実施する必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	【H29棚卸しに係る見直し状況】 一斉駆除について 一斉駆除事業は、地元農区からの要望により、6月から10月まで間で駆除隊と調整して日曜日に一斉駆除を計画する事業である。平成29年度までは1日の許可であったが平成30年度より1月間の許可とし、事務負担の軽減を図った。平成30年度は7月豪雨のため以降の期間一斉駆除を自粛した。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	有害鳥獣防除事業 (210177)			担当課	農林業振興課		
	開始年度	平成20(2008)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	荻野 幹雄		
	歳出費目	款) 農林業費	項) 林業費	目) 林業振興費	決算附属資料	180	頁	
	施策の大綱	農林水産業の振興			関連計画等	福知山市鳥獣被害防止計画		
	施策名	有害鳥獣対策を強化する			根拠法令等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	シカ・イノシシ等の野生鳥獣による農作物等への被害は農家の営農意欲や農地保全にも大きく影響しており、捕獲対策と併せて金網柵等及び捕獲柵の設置やバッファゾーン整備を実施し、農作物被害の軽減を図る。						
	対象者	農家数	対象者数	3,915	一人当たりコスト	2.04		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 (委託)伊東木材、(補助)福知山市有害鳥獣対策協議会						
	事業概要	野生鳥獣による被害を防止するため、バッファゾーンの整備とサル被害防止対策を実施した。また、福知山市有害鳥獣対策協議会が実施する侵入防止柵の災害復旧事業、大型捕獲柵の設置に対して支援を行った。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		委託料		バッファゾーン整備業務(菟原中)			934	
備品購入費		サル用発信機・受信機			399			
負担金補助及び交付金		負担金150、補助金1,765			1,915			
関連事業	有害鳥獣捕獲事業、中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業							
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算…①		6,384	3,131	1,790	1,870	
		補正予算…②		0	1,352	7,949		
		繰越し等…③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		4,734	3,533	9,739	1,870	
		国支出金		0	0	0		
		府支出金		700	0	0		
		地方債		0	0	0		
		その他特財		950	950	0		
		特定財源名称 (H29実績)					頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.83/0	0.43/0.02	0.43/0.02	/	
概算人件費…④		6,640	3,490	3,490				
総事業費(①+②+③+④)…⑤			10,134	7,973	13,229			
執行状況	執行額…⑥		3,494	3,248				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		54.7%	72.5%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		有害鳥獣による農作物年間被害額	千円	36,660/30,000	34,806/30,000	/30,000	30,000	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		有害鳥獣侵入防止柵設置(協議会事業)	km	36/90	144/90	/90	90	
		単位あたりコスト		97.1	22.6			
				/	/	/		
単位あたりコスト								

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・福知山市有害鳥獣対策協議会が、地元からの要望に基づき実施する「大型捕獲柵」及び「鳥獣侵入防止柵」の設置について、支援を行う。 ・市一般会計事業として、バッファゾーン整備事業等を実施する。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・現在では、事業の実施に伴う負担金については市が負担し、地元負担はゼロとなっている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については、本事業の実施は間接的なものであるが、協議会事業を支援することにより成果の向上を図る。 ・活動実績は協議会事業によるものである。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	有害鳥獣対策として捕獲と防除の両面から実施しており、さらなる防除対策の実施が必要な状況である。	
	今後の課題及び方向性	今後も防除対策に対する国の財政支援の強化を、継続して要望していく。 鳥獣侵入防止柵の設置は、地元施行で実施されているが、高齢化が進む中で地元での労力確保が課題となっている。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	【H29棚卸しに係る見直し状況】 バッファゾーン整備事業について 現在事業の検証中で平成31年度に結果をまとめる予定である。そのため平成30年度、平成31年度は予算要求を見送った。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		